

## 瀬戸内町ふるさと応援基金（ふるさと納税）公表について

この度は「ふるさと納税制度」のご活用により「瀬戸内町ふるさと応援基金」にご寄附を賜り誠にありがとうございました。あらためて衷心より深甚なる謝意を表したいと存じます。

お寄せいただきましたご寄附は、ご意向に沿った事業へと活用させていただきます。

皆様からの「瀬戸内町を応援したい」との温かい真心にお応えすべく、町政運営に懸命の努力を傾注してまいり所存でございますので、今後ともご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 寄附状況

令和4年度実績

ふるさと応援基金寄附金 77,931,000円（3,495件）

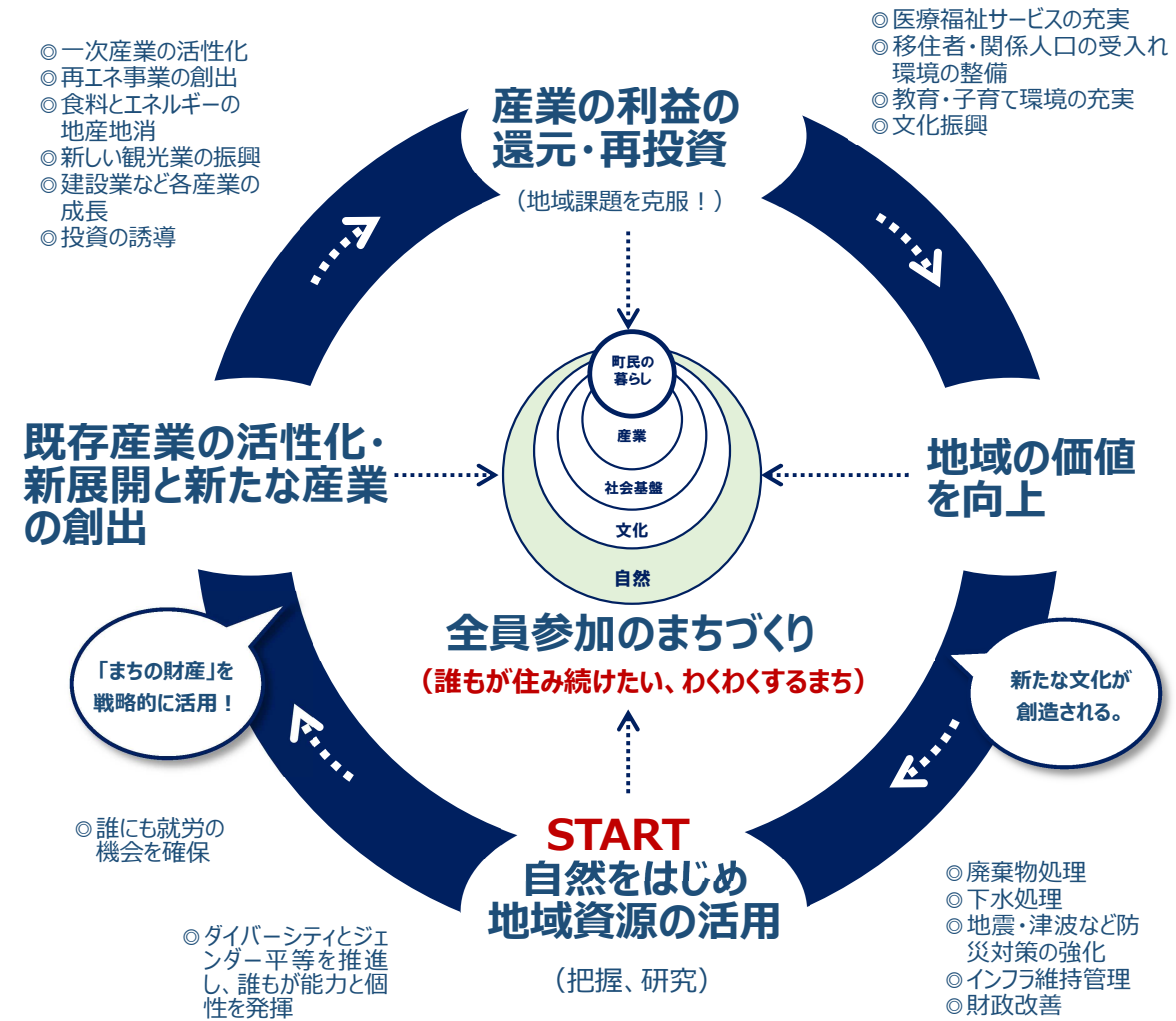
### 寄附金の活用状況（令和4年度）

本町では、全国から瀬戸内町を大切に思い支援していただいていることに感謝申し上げながら、寄附金を活用したまちの活性化を図る事業への取り組みを行っております。

令和4年度は以下のような事業に有効活用させていただきました。

### ランドデザイン策定事業

瀬戸内町の持続的成長と環境保全、町民の安心安全な暮らしの実現に向けて、町民、企業、役場が将来を見据えて一体となって取り組んでいくため、2050年の瀬戸内町の目指すべき将来像に向けた長期的な方針であり、かつまちづくりの戦略となる「瀬戸内町ランドデザイン」を策定しました。





～アマミノクロウサギとともに生きる～

「世界自然遺産の島」啓発事業

アマミノクロウサギと共存していくため、特産品「タンカン（樹木）」への食害防止柵の設置とアマミノクロウサギ等の野生動物交通事故防止を啓発する看板の設置を行いました。



## 食害防止柵



## 野生動物交通事故防止啓発看板



## 伝統漁法継続支援事業

船体修復により追い込み漁を継続することで、漁法の習得や経験を積むことができ、次世代への継承につなげることができました。また、アカウルメの水揚げを維持することができ、島の魚食文化を守ることができました。



## きび酢村構想推進事業

さとうきび生産における労働形態の現状・課題を抽出し、労力軽減のための機械化の検討にあたり、先進地事例の調査を行い加計呂麻島における機械化の導入の方向性を整理しました。

### さとうきびの小型刈倒し機械（種子島）



## 瀬戸内町地域提案型事業

各集落や自治会・任意団体が、地域の活性化や地域課題の解決に向け、自主的かつ自発的な運営を行い、その活動が公益に寄与するものである事業に対して補助を行いました。

瀬戸内町の雰囲気織り交ぜた「島唄」  
の楽譜を作成し、演奏会等で披露



集落内の荒廃地を  
グラウンドゴルフ場に整備





## 総合芸術教室事業

奄美群島日本復帰の歴史と先人の生き方を学び、自由と平和の大切さや郷土を愛する心を育てる。また、これからの教育に特に求められているものとして、主体的に学ぶ力、対話を通しての社会的能力、また思考力、判断力、課題解決能力の育成に演劇等を体験することは大変有効であることから、演劇教室を開講し、記念講演を行いました。

○瀬戸内町内の小・中・高校生14名、一般大人13名

## 奄美群島日本復帰70周年記念の舞台公演（きゅら島交流館）



## プレミアム商品券事業

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束がみられず、燃油価格・物価高騰の影響も重なり、町民の購買意欲が減少している現状がある中、地域消費喚起プレミアム事業によるプレミアム商品券を販売することにより、町民家計への支援、地元消費拡大など、地域の消費喚起による経済の活性化を図りました。